

# 第23回『親と子のケアをもっとよくする会』ご案内

春暖の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。今年もまた、この会を開催する運びとなりました。

今回は井上文子先生をお迎えし、ご自身の体験を通しての貴重なご講演をしていただきます。

周産期に関わるスタッフにとって避けては通れないテーマであり、また自分達のケアを見つめ直す時間になると思います。

皆様お誘い合わせの上、多数のご参加を心よりお待ちしております。

## 講演テーマ グリーフケア

～死産を経験された家族からのメッセージ～

講師：井上文子先生 相模女子大 非常勤講師

日時：2019年6月1日（土）

17:30～19:30

場所：杏林大学医学部付属病院 第2病棟4階 大学院講堂

申し込み締め切り：2019年5月31日（金） 16:00

### <井上文子先生ご略歴>

10歳の時に腎臓病を患い、入院中にテレビで観たマザーテレサに感銘を受け、福祉の道を目指す。東洋大学大学院社会学研究社会福祉学専攻博士前期課程修了後、1994年より公益財団法人がんの子どもを守る会にてソーシャルワーカーとして勤務。産休に入るまで勤務するが、2005年7月26日に長女を39週5日目で死産。その後、退職。2年後に長男を出産するが、重度の食物アレルギーのため食べられない眠れないの究極の育児に追われる。2010年4月に乳がんと診断され、左胸全摘手術の他、1年半にわたり厳しい治療を受ける。現在は、相模女子大の非常勤講師として、栄養士を目指す学生さんたちに社会福祉全般を教えている他、ボランティア活動に勤しむ毎日を送っている。（まなざしカフェ、がんママカフェ、多摩アレルギーっ子の会を運営。家族は、夫と11歳の息子の3人暮らし。町田生まれの町田育ち。趣味は、ヨガ、読書、料理、旅行。食べることとお料理することをこよなく愛する主婦です！

著書：「こどもが病気になった時 家族が抱く50の不安」池田文子 春秋社

「赤ちゃんの死へのまなざし」竹内正人編著 井上文子、井上修一、長谷川充子 中央法規

会場までのアクセスは杏林大学医学部付属病院ホームページをご覧ください。お申し込みはFAXまたは官製はがきにてお願いいたします。お申し込み要領は裏面をご覧ください。当日ご参加希望の方は10:00～12:00までに下記へご連絡下さい。

杏林大学医学部付属病院 代表0422(47)5511 内線PHS 7298

杏林大学医学部付属病院 総合周産期母子医療センター 親と子のケアをもっとよくする会

## 第23回 「親と子のケアをもっとよくする会」

### お申し込み要領

官製はがき又はFAXにて、下記宛にお申し込み下さい。

### お申し込み締め切り

官製はがき→2019年5月15日までに投函

FAX→2019年5月31日(金)16:00まで

尚、お申し込みの際はお手数ですが

代表者氏名 参加人数 参加者氏名 勤務先名称 勤務先住所 連絡先(電話番号・FAX番号)を必ず明記してください。変更事項などがある場合に連絡させていただきます。

**\*当日のご参加の方はお電話でお願い致します。**

### お申し込み 及び お問い合わせ先

〒181-8611 東京都三鷹市新川6-20-2

杏林大学医学部付属病院 総合周産期母子医療センター

連絡先：森田知子 TEL0422-47-5511(内2229)

当日ご参加 10:00~12:00 内線 PHS 7298

アクセスは杏林大学医学部付属病院ホームページをご覧ください。  
大学院講堂へは右の地図をご参照ください。



FAX送信票 0422-44-4185

親と子のケアをもっとよくする会宛て

第23回 「親と子のケアをもっとよくする会」に参加します。

代表者氏名 \_\_\_\_\_ 参加人数 \_\_\_\_\_ 名

参加者氏名 \_\_\_\_\_

勤務先名称 \_\_\_\_\_

勤務先住所 〒 \_\_\_\_\_

参加者代表連絡先 電話番号 \_\_\_\_\_

FAX番号 \_\_\_\_\_